

# （世界自然遺産「やんばるの森」を知ってもらおうプロジェクト）

## （チーム「うふやんばる」）

### プロジェクトチームの目的

沖縄北部に広がる「やんばるの森」がもたらす価値について都市部の方々に知ってもらうことにより、森林・林業について考えるきっかけを作る。  
具体的には、「やんばるの森」の生態系・歴史文化的背景及び「やんばる型森林業」についてフラットな立場で理解を深めてもらいたい。

### 解決したい課題

- ・沖縄の森林について、ユネスコや希少生物といった認識のみならず、歴史文化的背景の理解を促進する。
- ・「やんばるの森」が都市部にもたらす価値（水源・海への養分の供給源・防災の役割）についても理解を促進する。
- ・人間の経済活動と森林環境の維持のバランスについて振り返り、森林に関する俯瞰的な視野を持つ機会を提供する。

### 関連するゴール



### 活動期間

令和7年4月～令和8年3月

### おきなわSDGsアクションプランとの関係性

優先課題③

③-1

生まれ育った地域の歴史や文化等を学び、地域への愛着と誇りを持った若者が活躍する社会を実現する。

### 活動内容 及び 期待される成果

・沖縄の「やんばる型森林業」についての理解を深めるための取組を行う。  
【やんばる型森林業：森林の生態系にできるだけ配慮しながらエリアを定めて、①育苗→②新植→③保育（下刈、除伐等）→④間伐→⑤収穫という形で、持続可能な取り組みを行うこと。】  
・森林がもたらす様々な価値（水源涵養、土砂災害防止、生物多様性、海の生物の栄養源の供給など）について改めて認知・理解をしてもらうための活動も実施する。

⇒(取組1)昨年の豪雨被害にあった苗畑の復興支援という形で「被災地見学ツアー」を開催する。

⇒(取組2)苗を育てられる状況になってからは「苗畑のオーナー制度」などを実施する。



・森林組合の活動や実態を知ってもらうことができる。  
（苗木から育てて、それを森へ植えて育林し、最後に木材資源として収穫をして、という循環を生み出していることや、森林パトロールなど生態系保全に努めていること）  
・都市部にとっての森林資源の価値を再認識してもらうことができる。  
・沖縄の森林に関する歴史文化的な部分を理解したうえで、森林環境・生態系を俯瞰的に考えることが可能となる。

### プロジェクトチームのイメージ

